

.....テーマ 村とランドスケープ 2000

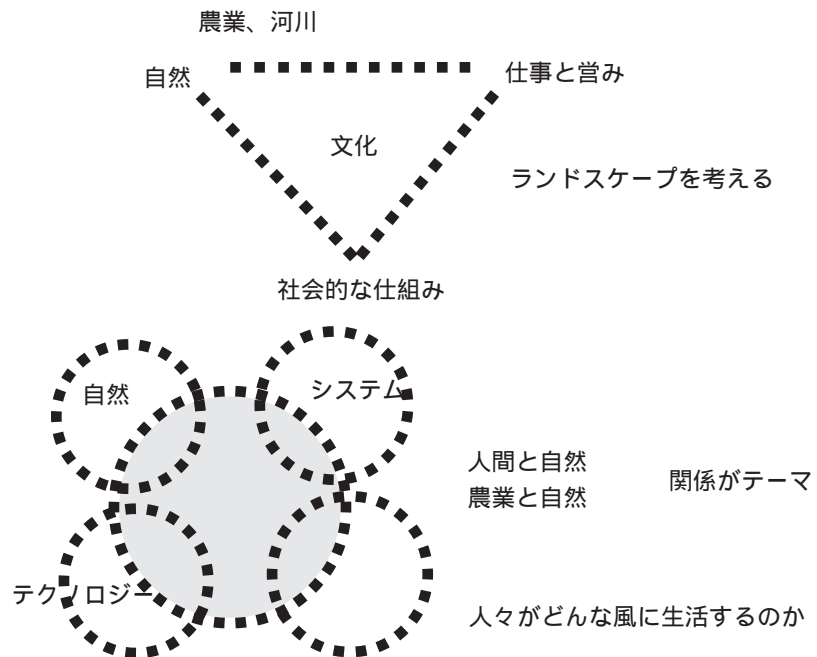
村がどのように新時代を迎えて ランドスケープが変化したか

デトレフ・イブセン教授 (カッセル大学)

アールハイムの人口 5000 人
 1997 年からカッセル大学が係わる
 地元住民と係わる
 地元で自立、文化の引き出しを重点
 流通の問題点 過疎化からの目覚め
 観光客のためではない。地元で使うため
 どんな風に風景を体験できるか 芸術家
 村の人が喜んで自分の意志でスタート
 政治家や行政が手伝う
 他で何をやっているかの情報交換も大切に思うようになった

.....
農業とランドスケープ オノ・ポッセンガー (カッセル)

田園的な風景ではない
 農作業がある風景
 風景がどんな役にたって行くかが大切になる
 過去、10 年間の水、森。私の身の回りでこのままで良いだろうか？
 将来に向き合う絵が描ければ良い



頭の中に出てくる遊び etc もランドスケープ
 何を体験して何をつくるか。持続性が大切